システム化された「橋渡し」で実現する国際研究集会の開催支援



小森芙美、小川正

京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 (WPI ASHBi)

「橋渡し」業務をシステム化し、専任スタッフの配置で年間 60 件以上の高品質な国際研究集会・セミナー開催を達成!

CONTEXT & CHALLENGE

オーガナイザー(研究者)の業務

会場手配、講演者調整、旅程・宿泊手配、広報物作成、参加登録、プログラム編成、 当日の運営など、多岐にわたるタスクがオーガナイザー(研究者)にのしかかる

背景2 ノウハウの非共有

国際研究集会ごとにオーガナイザーが異なるため、知見が共有されず、ノウハウがリセットされる

▶ ▶ 研究者の負担軽減と、高品質な国際研究集会開催の両立をどう実現するか

STRATEGY

専任スタッフの配置とシステム化

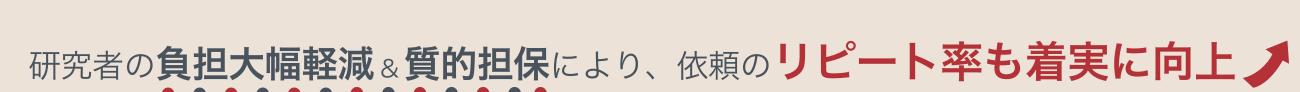
メイン 1 名、補助 1 名の専任スタッフを配置

イベント支援チームを固定し、ノウハウ集約とシステム化を実現

その結果、**年間 60 件以上**の国際研究集会・海外研究者セミナーの 開催支援を少人数体制で実現

SYSTEMATIC APPROACH オーガナイザー イベント専任 スタッフ システム化された「橋渡し」プロセス 招待講演者 「いつ」「誰に」「必要な情報を」渡すかを整理 コンセプトを実務へ フロー図に落とし込み、主要ステップでの必要な情報、タイミングを可視化 どの規模のイベントにも共通する作業のテンプレート化 参加者 イベント名、日程 規模 ・ターゲット アンケート形式での情報収提供 日時・場所の確保 招待講演者 ...etc 旅程の調整 学内外の会場候補地を定型化 招待講演者と航空券・宿泊の調整 規模・形式・予算に応じて手配 宿泊先も定型化で調整時間を短縮 大学事務との調整 予算執行に必要な論理的説明を 研究者に代わって行う **Flyer** PR担当 **ASHBi** Website SHBi DISTINGUISHED SEMINAR Qiang Yang Ph.D. Christine Yuan Registration 広報物の制作 参加登録 開始 Dr. Qiang Yang from Hong Kong Polyte SNS・メール配信をスケジュール化 Google フォームで自動集約 業者との調整 投稿内容のテンプレート化 名簿・名札作成にスムーズに連携 機材、ケータリング、レストランなど 印刷業者・テンプレート化 複数業者もリピート活用で効率化と 信頼関係の構築 ロジ ・幕間案内スライド 広がる世 ・名簿・名札の作成 揭示物準備 於京都大学百周年時計 抄録集の制作・配布 システム化された『橋渡し』プロセスの全体像 当日の準備





研究支援ユニット企画

その他

研究者企画イベント

拠点内定例イベント (Rereat、Colloquium)

システム化された『橋渡し』のプロセスを、他組織へ展開さらなる効率化と支援の質向上

担保により、依頼の**リピート率も着実に向上 ♪** 研究者と支援者がそれぞれの専門性を活かし、協働する環境を整備したい